

白河市指定重要文化財

旧小峰城太鼓櫓



2階（※非公開）

1階

【利用案内】

見学 無料

- ◆内部一般公開日：不定期
（詳細は市公式ホームページ等にてご案内します）
- ◆貸館利用時には、見学をお断りする場合があります

貸館 有料

- ◆時間：8時から20時まで
- ◆料金：1時間あたり200円
- ※事前の申請が必要です。
- ※年末年始（12月28日～1月4日）休館

【お問い合わせ】

白河市建設部文化財課（白河市歴史民俗資料館内）
〒961-0053 福島県白河市中田 7-1
TEL:0248-27-2310 FAX 0248-27-2256
<http://www.city.shirakawa.fukushima.jp/>

案内図



旧小峰城太鼓櫓とは

旧小峰城太鼓櫓（以下「旧太鼓櫓」）は、江戸時代の小峰城に所在した建造物として、市の重要文化財に指定されています。

もとは城内二之丸の太鼓門西側にあったと考えられ、明治七年（一八七四）に白河で商家（山城屋）を営んでいた荒井家が払い下げを受けて旧三之丸の紅葉土手東側に移築し、昭和五年（一九三〇）に現敷地内に再移築されました。

その後、平成二七年（二〇一五）、旧太鼓櫓などが荒井家より市へ寄贈されました。

市では、旧太鼓櫓の老朽化等のため令和二年一〇月から令和四年七月にかけて解体修理を行い、同敷地内南側への移築を実施しました。



旧小峰城太鼓櫓の移築の経過（推定）（『福島県ヨリ大蔵省工差出二相成候白河城郭内絵図面』〈部分、個人蔵〉より）



紅葉土手時代の様子（大正～昭和初期頃）（『白河市史』三より）

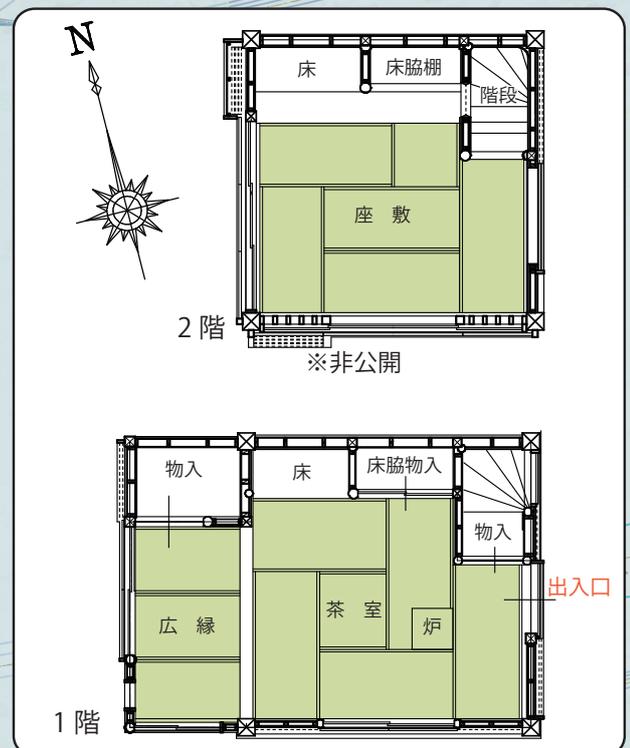
旧太鼓櫓の特徴

旧太鼓櫓は、寄棟造りで柱が四方に転び（柱などの材を傾げる作り方）を持つ二階建ての建物です。現在みられる一階の庇や広縁部分、茶室としての内装などは、払い下げ後に数度にわたり改修されたものです。

また、解体工事にあわせて行われた部材の年代測定調査により、柱や桁など構造材の一部は江戸時代に伐採されたものである可能性が高いことが分かりました。

小峰城内の建造物は、江戸時代の末から明治時代の初めにかけてほぼ失われており、旧太鼓櫓は唯一現存する貴重な建造物です。

平面図



旧太鼓櫓略年表

江戸時代	小峰城内太鼓門西側付近に所在
明治7年	旧三之丸紅葉土手に移築
昭和5年	現敷地内へ移築
昭和39年	市重要文化財(建造物)指定
平成27年	建物が市に寄贈
平成29年	市の歴史的風致形成建造物に指定
令和2年	解体移築工事着手
令和4年	解体移築工事竣工